

IV 良質な個別サービスの実施(高齢者福祉施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
A-1 利用者の尊重						
(1) 利用者の尊重						
1	1	○				利用者・家族の意見等をアンケートや満足度調査・懇親会等で丁寧に傾聴し、できることから対応するなど、信頼関係を構築する取組が積極的に行われていることが確認できたのでa評価とした。
2	2	○				月1回の利用者懇談会をはじめ各種調査・アンケート等を通じて利用者の意向を尊重していることが確認できたのでa評価とした。
(2) 利用者の権利擁護						
3	1	○				高齢者虐待防止や身体拘束廃止について具体的なマニュアル等が整備され、事業計画にも明示され、職員会議で徹底している。成年後見制度についても研修を行い実際に活用するなど具体的な取組が確認できたのでa評価とした。
(3) 家族との連携・交流						
4	1	○				年2回家族会を開催し、誕生会や施設の行事に参加を促すなど利用者の日々の状況について面談や連絡以外にも積極的に行われていることが確認できたのでa評価とした。
(4) 生活環境づくり						
5	1	○				共有スペースは落ち着いた空間を演出し、プライベートスペースは可能な限り個人空間の確保に努めている。個人の家具等も持ち込むことができ、安心してくつろげる場所を設けるなど利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいることが確認できたのでa評価とした。
(5) 終末期ケア						
6	1	○				看取りに関する指針があり、職員研修も行っている。今年度より終末期の場所等の選択を利用者・家族に確認するなど終末期の場所等に配慮がされていることが確認できたのでa評価とした。
A-2 日常生活支援						
(1) 食事						
7	1	○				利用者や家族の意向を尊重しながら、利用者の体調や身体状況に応じた個別の支援内容が記載されたサービス計画が作成され、管理栄養士による栄養マネジメントが実施されていることが確認できたのでa評価とした。
8	2	○				個別の嗜好調査や、利用者懇談会において把握した嗜好をもとに献立に反映させていることが確認できたのでa評価とした。
9	3		○			食事は、利用者のペースに合わせてゆっくり食べることができるよう喫食環境に配慮がされているが、全介助の方については、介助時間の関係から食材の保温状態の確保について工夫の余地があると判断したのでb評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(2) 入浴						
10	1	入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			入浴マニュアル・個別サービス計画等により個人に配慮した入浴が提供され、身体状況・健康状態を入浴時にも観察するなど、適切な入浴の支援が行われていることが確認できたのでa評価とした。
11	2	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			希望により個浴も提供したり、体調の変化により入浴を中止する場合も、清拭等に変更するなど、利用者の希望に沿った支援が行われていることが確認できたのでa評価とした。
12	3	浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			滑り止めや手すりの設置、脱衣所に冷暖房設備が完備され安全面やプライバシー保護等、環境に十分配慮されていることが確認できたのでa評価とした。
(3) 排泄						
13	1	排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。		○		一人ひとりの排泄介助について施設サービス計画に位置づけられ個別事情による支援をすることとなっているが、実施段階においてプライバシーへの配慮が十分とはいえないと判断したのでb評価とした。
14	2	トイレ環境に配慮している。		○		トイレの冷暖房の整備、多床室ではカーテン等で仕切れるなど設備的には配慮がされているが、実施段階において、カーテンや戸を閉めるなどのプライバシーへの配慮が十分とはいえないと判断したのでb評価とした。
(4) 移乗・移動						
15	1	移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			移乗・移動介助の必要な利用者について一人ひとりの身体状況にあった施設サービス計画が策定されており、安全な移乗・移動介助の支援が行われていることが確認できたのでa評価とした。
(5) 外部介護サービスの利用						
16	1	外部の介護サービスの利用ができるよう必要な支援を行っている。			○	該当事業所ではないので、Naとした。
(6) 認知症利用者への対応						
17	1	認知症利用者への対応が適切に行われている。	○			認知症についての対応マニュアルが整備され、職場内でも研修を行い、利用者個々の状態・性格を把握し、共通理解のもと認知症利用者への対応が適切に行われていると確認できたのでa評価とした。
(7) 整容						
18	1	利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○			身だしなみや清潔についても個別の施設サービス計画内に位置づけられ、その支援が行われていることが確認できたのでa評価とした。
19	2	利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○			月に1回理容の日を設け、個々の好みの髪型や意向を尊重した取組が確認できたのでa評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(8) 睡眠						
20	1	安眠できるように配慮している。	○			安眠につながるさまざまな充実した活動を提供している。多床室における同室者に影響を及ぼす場合は、他の部屋を利用するなど、安眠に対する取組が確認できたのでa評価とした。
(9) 健康管理						
21	1	日常の健康管理は適切である。	○			日々、看護師による看護記録が整備され、関係機関・部署との連携も書面や口頭で行われ、共通理解のもと適切に取り組まれていることが確認できたのでa評価とした。
22	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			体調変化等必要があれば、協力病院や嘱託医への受診等迅速な対応が行われ、連携も図られていることが確認できたのでa評価とした。
23	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。		-	○	薬の管理・予薬・誤薬防止のマニュアルは整備されているが、誤薬の事故報告があったので、取り扱いミスが生じないようにマニュアルの徹底と職員一人ひとりの注意喚起が必要と判断したのでc評価とした。
(10) 外泊、外出						
24	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○			利用者や家族の希望に応じた支援が行われていることが確認できたのでa評価とした。
(11) 所持金・預かり金の管理						
25	1	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○			利用者貴重品管理要綱に基づき適切な管理体制が構築されていると確認できたのでa評価とした。
A-3 自立支援						
(1) 機能回復						
26	1	利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。	○			看護師が中心になり、利用者一人ひとりの身体の状況に応じて行い、月に1度理学療法士の指導を受け、適切な支援が行われていると確認できたのでa評価とした。
(2) 生きがいがづくり						
27	1	利用者の余暇活動や生きがいがづくりへの支援が適切に行われている。	○			施設全体での行事や各棟でのレクリエーションなど、積極的に取り組まれていると確認できたのでa評価とした。
(3) 地域生活への移行						
28	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。	○			退所に関する支援態勢が整備されていることが確認できたのでa評価とした。